

巻頭言

広島市立大学教育基盤センター紀要の創刊に寄せて

教育基盤センター長 渡辺 智恵

「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の理念として1994年に本学が開学して以来、本年で30周年を迎えました。この節目の年に、本学教育基盤センターの紀要が創刊の運びとなりましたことを大変うれしく思いますとともに、創刊号にご投稿いただきました先生方に深く感謝申し上げます。

本学教育基盤センターは、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針に基づく体系的で組織的な教育を行えるよう、学士課程、大学院課程における共通教育や特色ある教育を企画・推進するとともに、大学全体の教育の恒常的な点検・評価・改善を組織的に推進、支援することを目的に2023年4月に設置されました。

現代社会は、社会産業構造の変化や急速な人口減少・超高齢化といった大きな変化の中にあり、社会的課題は多様化・複雑化しています。このような中で、大学教育の在り方が問われ、問題解決には専門知識に加えて文理を超えた複眼的な思考が求められており、とりわけ共通教育の見直しも大きな課題の一つとなっています。

センターの活動はまだ始まったばかりで手探りの状況ではありますが、本紀要の創刊を契機に、センターの取り組みが一層活発になることを期待しております。また、本紀要が本学における教育活動や研究成果の発信の一助となり、社会の課題解決に貢献する示唆となることを願っております。